

focus the KAKO

第74回 鹿児島高等学校卒業式

3月1日(水)、第74回鹿児島高等学校卒業式が挙行され、普通科217名、英数科74名、情報ビジネス科140名、計430名の3年生が卒業を迎えました。

今年度は、マスク着用が緩和された卒業式でした。保護者や職員が温かい拍手に迎えられ、晴れ晴れとした表情で入場した後、各クラスの総代に卒業証書が授与されました。須田勝広校長先生は式辞として、「この3年間、他者との交流の中で自分を大きく成長させていた。これからの未来は、予測できない、答えがない問題に対峙していかなければならない。しかし、困難はチャンス。順境ならよし、逆境ならなおよし。」という京セラの創設者である稲盛和夫さんの言葉にあり、常に努力し、どんな困難も乗り越え、新しい人生の一步を進んでほしい。大丈夫。君たちならきっとできる。」と述べられました。在校生を代表して、三弧会会長の富谷怜花さん(2F1 伊敷台中)が「制限がある中でも、笑顔と絶やさず、全力で楽しむ姿が印象的だった。そんな先輩たちはこれから私たちの憧れ。それぞれの道で掛け合うことがあっても、3年間の思い出が助けになってくれる。」とはなむけの言葉を贈り、卒業生を代表して三弧会会長の古川美津季さん(3F6 吉野東中)が「不安もあつたが、仲間の支えがあり多くの課題を乗り越えることができた。たくさん制限がありながらも、ここまで来ることができたのは、友人や先生、家族のおかげ。これから、高校生活で学んだ全てを糧にして頑張っていきたい。」と涙ながらに答辞を述べました。最後に、高校生活最後となる校歌を歌い、式は幕を下ろしました。

式の後には各クラスにて最後のホームルームが行われ、担任の先生から一人ひとりに卒業証書が手渡されました。卒業生は3年間で振り返り、クラスメイトや先生、保護者の方への感謝を述べ、別れを惜しみつつも未来への期待に輝かしい表情を浮かべていました。

前途洋々たる道に進まれる卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。



focus the KAKO

第74回 卒業生賞状授与式

2月28日(火)、本校体育館にて賞状授与式が挙行されました。鹿児島県知事賞、鹿児島市長賞、全国商業高等学校協会賞をはじめとする学業や部活動の功績を称える賞を授与しました。在校生も1年後、2年後の自分たちの姿を想像しながら、今後の学校生活を充実したものにできるよう励んでくれることと思います。来年度もまた、多くの賞を授与できることを願っています。



focus the KAKO

WBCを全校生徒で観戦!

3月22日(水)の1~4限に、WBC決勝戦を全校生徒で観戦しました。体育館に集まった生徒たちは、自作の応援グッズを片手に準備万端な様子。村上選手、岡本選手、9回にマウン

ドに上がった大谷選手の、フルカウントからスライダーで空振り三振を奪った場面、体育館は大盛り上がり。14年ぶりの優勝という歴史的な快挙に立ち会えることができ、素晴らしい時間となりました。





Scio(スキオー)の意味

知るを意味するラテン語。science(科学)の語源にあたるscientia(知識)は、Scioの派生語とされています。

令和5年度大学選抜を振りかえる 受検とは相手と自分を知ること

3月12日を中心に国立公立大学後期試験が行われ、本校でも約20名の生徒が後期試験に臨みました。若干の大学を除いて、令和5年度大学入学選抜試験がフィナーレを迎え、1月の中旬から3月中旬にわたる、長い2カ月間の受験がようやく終了しました。

少子化といわれる中、確かに高校生は減少していますが、3年目の実施となる共通テストでは情報量増加・思考力重視の出題傾向がますます顕著となり、私立大学文系学部の一部では試験教科として「数学」が課されるなど、大学入試は確実に難化しています。また、現1年生が受験する共通テストでは、新たに「情報」が加わり、数学②では「数Ⅲ」が課されることが既に決定しています。受験に成功するとは、合格ライン以上に得点を取ることに他なりません。本年度の締めくくりにあたり、次年度の準備として、どうすれば合格ラインに乗ることができるのかを確認しておきましょう。

①合格ラインを知る

そもそも、目標地点を定めなければスタートが切れません。目標地点の設定が大切です。ただし、重要な点は、目標設定のための判断が必要であること、状況に応じて、目標設定も調整が必要ということであり、「目標は目的と異なる」ということです。目的地に到達するための道筋(経緯)はたくさんあります。目標は複数の道筋(経緯)がそれぞれにもつ「具体的な道標(みちしるべ)」となります。

②自身を知る

目標地点が設定できれば、自分自身の現在地を知ることが重要となります。ここでは、どの道筋(経緯)にたつて自己をどのように評価できるかが重要です。当然、偏差値・得点率でみることも可能ですが、各学校のアドミッション・ポリシー(入学生受け入れ方針)から自己を評価することも可能です。また、ここでの自己評価とは気持ち・思い入れではなく、行動・実践であることも要注意です。

③自身を成長させる

目標地点と現在地がわかれば、あとは近づくための行動努力(あるのみ)です。ここからが大変で、受験準備は早ければ、早いほど有利であるといわれる所以です。この段階で「苦手を避ける人」がいますが、受験上では「苦手を克服すること」が有利かつ、有用です。なぜなら、以後の知識・技能等の学習に必要となるからです。入試で課されているからです。では、苦手を克服するにはどうするか。向き合おうと思いません。しかし、しっかりと向き合うと意外と理解できることのほうが多いです。本年度、目標と自身に十分に向き合い、努力した先輩方の成果を以下に紹介します。

令和5年入試(学校推薦型公募制・総合型・一般)の主な合格者

●国立大学(学部)・・・46名(一般前期まで)

埼玉大学(教育1) / 東京藝術大学(音楽1) / 横浜国立大学(教育1) / 大阪公立大学(文1) / 京都教育大学(教育1) / 広島大学(文1) / 山口大学(理1・国際総合1) / 高知工科大学(シス工1) / 福岡教育大学(教育1) / 九州大学(人文1・医/医1) / 福岡女子大学(国際文理1) / 福岡県立大学(看護1) / 長崎大学(教育1) / 熊本大学(工1・薬1) / 熊本県立大学(環境共生1) / 宮崎公立大学(人文2) / 鹿児島大学(医/医1・医/保1・工8・理1・法文12・教育3)

●公立短期大学・・・12名

鹿児島県立短期大学(文3・商経6・生活2・商経2)

●私立大・短大(指定校推薦を除く)・・・233名

慶応義塾大 1 / 上智大 1 / 明治大 5 / 青山学院大 1 / 立教大 1 / 法政大 1 / 中央大 5 / 関西大 1 / 関西学院大 1 / 立命館大 2 / 西南学院大 13 / 福岡大 25 など

※3月18日現在・現 / 浪含む延べ人数

進学指導主任・西村浩一



学び続ける

商業科・松元 信一

人生を長く生きると、様々な経験を否応なく積みみます。40年以上前を振り返ると、高校生の頃は日々の学習と部活動に追われ、目先の試験に対応することで精一杯でした。とても、10・20年先の将来のビジョンなんて真剣に考えていませんでした。よもや自分が教師として40年近く、人に学習や進路・生徒指導をすることになるなんて勉強嫌いで不真面目な生活を送っていた高校生の自分には、まったく想像ができませんでした。

日々、老いが進み体力・気力の衰えが増していく中で、若くこれから未来のあるみなさんに今後のアドバイスを多少なりとも述べます。

まず第一に、今考えている進路(未来)が自分の希望するところにならないこともあるということ。特に昨今の世界情勢を見ても、コロナや地震・戦争・AI技術の進展など、一般人の我々には予測できないことが起こることです。

第二にたとえ希望する仕事についても、その中で働いていくうえで、他人との人間関係は避けて通れないということ。

第三に自分が望まない職業に就いても、それを愚直にやり続けることによつてスペシャリストになれるということ。

第四に勉強の機会は生涯に渡っており、本当に学びたいときの学習が一番身につくということ。

第五に世の中に無駄なものなんてない。教科書以外で得る知識や体験が身を助けることもある、ということ。です。

抽象的でよく分かりにくいかと思いますが、簡単に言えば、AI技術の発展で現存する職業が30年先にはなくなるものがあり、大企業といえども先を見誤ると他企業に吸収されたり、倒産することもあり、逆に天災や伝染病・技術革新で突然、脚光を浴びる職業もある。そして、自分が希望する企業や職業に就いてその中で働いてみないと同僚・上司との人間関係はわからない。また、配置転換や転職で予想もつかない業務にあたるなんて日常茶飯事です。仮に転職を余儀なくされ新しい技術や資格を取得しなければならぬときの勉強ほど身につくものはありません。

以上のようなことが本当に起こるか、誰にもわかりません。小中高校で、いろんな科目やスポーツ・芸術・人間関係を学ぶことで、自分の能力を高め、多少のことでは崩れない強固な土台を築いていくのだと思います。

今は目の前の事をコツコツとやりながら、20年30年先のことをたまに考えてみてはどうでしょうか。

部活動の活躍

水泳部

2022年度 鹿児島スィムフェスティバル

〔女子50m平泳ぎ〕

第1位 末永 愛月(2F5 吉野中)

★大会新記録

〔女子200m個人メドレー〕

第1位 末永 愛月(2F5 吉野中)

〔女子100m自由形〕

第1位 島山 藍瑠(2F5 福平中)

第2位 中村 珠梨(1F8 鴨池中)

〔女子50m自由形〕

第1位 中村 珠梨(1F8 鴨池中)

第2位 島山 藍瑠(2F5 福平中)

〔男子50mバタフライ〕

第2位 小野 海飛(3J3 長田中)

〔男子50m平泳ぎ〕

第2位 濱田 航士朗(3F6 吉野中)

第3位 有元 愛凌(2F2 川内南中)

〔男子200m平泳ぎ〕

第2位 森田 大智(2F4 清水中)

第3位 濱田 航士朗(3F6 吉野中)

〔男子100m平泳ぎ〕

第3位 若下 海響(2F8 鴨池中)

〔男子50m背泳ぎ〕

第3位 所崎 颯(2EE1 桜丘中)

男子バスケットボール部

鹿児島県U18リーグ 鹿児島県各地区代表順位決定戦

第1位

★令和5年度より1部リーグ参入決定

女子バスケットボール部

第53回全九州高等学校 バスケットボール春季選手権大会

第3位

フェンシング部

第5回 牧野杯フェンシング大会

〔一般女子エヘ個人〕

準優勝 中村 季咲(1J2 城西西中)

駅伝部

日本陸上競技選手権大会 U20選抜競歩大会

第7位

石川 晴佳(2F2 西紫原中)

出場 瀧本 翔太(2J2 吉野東中)
川路 由真(2J3 東市来中)

第29回鹿児島県高等学校 新人駅伝競走大会

〔女子〕

第2位

〔1区〕区間2位 芝崎 葉音(1EE1 吉野東中)

〔2区〕区間2位 神田 美咲(1F10 松元中)

〔3区〕区間賞 上ノ原 小都理(1EE1 帖佐中)

〔4区〕区間2位 平野 悠莉(1F7 松元中)

★これまでの結果から、3月に阿久根で行なわれる九州高校選抜駅伝に招待されました。

〔男子〕

第3位

〔1区〕区間5位 中園 勤翔(1F8 国分中)

〔2区〕区間2位 松久 保貴也(1J3 重富中)

〔3区〕区間4位 海野 竜駕(2F4 帖佐中)

〔4区〕区間5位 飯牟禮 孔暉(2F3 東市来中)

〔5区〕区間4位 一村 昊輝(1J5 西紫原中)

〔6区〕区間5位 末永 諒馬(2F3 伊敷中)

3月12日

第30回阿久根市長旗九州選抜 高等学校駅伝競走大会

〔女子の部〕

優勝

〔1区〕区間3位 芝崎 葉音(1EE1 吉野東中)

〔2区〕区間3位 上ノ原 小都理(1EE1 帖佐中)

〔3区〕区間賞 神田 美咲(1F10 松元中)

〔4区〕区間賞 長谷川 凜佳(2J4 吉野東中)

〔5区〕区間3位 平野 悠莉(1F7 松元中)

女子ソフトテニス部

第8回鹿児島県私立高等学校 女子ソフトテニス大会

第3位

小川 孝央(2J2 東谷山中)

志戸 岡愛莉(2F7 帖佐中)

柿木 田奈緒(2F3 国分中)

基山 愛璃(1F4 山川中)

今村 漣果(1F6 甲南中)

落合 莉愛(1F10 鴨池中)

卓球部

鹿児島県高校春季卓球大会

第3位

福留 楓香(2F1 串良中)

批柳 美里(2J2 伊敷台中)

小椋 萌々(2EE3 舞鶴中)

本山 紗彩(1J2 東谷山中)

本山 礼紗(1J5 東谷山中)

寺園 穂乃佳(1J5 鴨池中)

書道部

第61回ひな祭り書道展

〔特別賞〕

小倉 博文堂賞 竹内 柚葉(2EE1 谷山中)

南日本書道会賞 高橋 亜実(2EE3 天保山中)

特選

脳元 莉子(2EE1 清水中)

時崎 由理(2EE3 郡山中)

篠原 叶百華(2EE2 串木野中)

坂下 絢香(2F1 重富中)

濱崎 真優(1F4 甲南中)

特選

坂下 絢香(2F1 重富中)

後藤 愛佳(2F7 紫原中)

中神 優希(2EE2 武中)

高橋 亜実(2EE3 天保山中)

瀧崎 真優(1F4 甲南中)

奨励賞

竹内 柚葉(2EE1 谷山中)

宮内 璃子(2EE1 松元中)

脳元 莉子(2EE1 清水中)

安本 光希(2EE1 天保山中)

篠原 叶百華(2EE2 串木野中)

時崎 由理(2EE3 郡山中)

福永 凛(1F5 谷山中)

南原 彩季(1F9 天保山中)

吹奏楽部

第10回JBAソロコンテスト

〔高校生の部〕サクソフォン

金賞 迫田 美月(2F5 垂水中央中)

演劇部

第三十一回鹿児島県高等学校 冬季県大会(演劇)

優秀賞

〔創作脚本部門〕

創作脚本賞

音楽部

第16回声楽アンサンブルコンテスト全国大会

優良賞

その他の活動

第7回高校生よかアイデアコンテスト

佳作賞 久保 俊翔(3F2 帖佐中)

前島 寛太(3F2 東谷山中)

かけはし

3月号

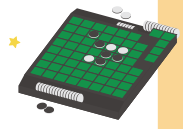


クラスマッチお疲れ様でした。天候不良により、うまくいかないところもありましたが、どの競技もとても白熱していました。
今回は、上位に輝いたクラスを掲載します。

試合結果

男女オセロ

- 1年
- 1位 1F1
 - 2位 1T1
 - 3位 1F9



- 2年
- 1位 2E2
 - 2位 2F8
 - 3位 2F4・2ET1

混合バレー

- 1年
- 1位 1F6
 - 2位 1J4
 - 3位 1F2・1E1

- 2年
- 1位 2F6
 - 2位 2F6
 - 3位 2E3・2E2



女子バレー

- 1年
- 1位 1J1
 - 2位 1J2
 - 3位 1F8・1T1



混合バドミントン

- 1年
- 1位 1J1
 - 2位 1F10
 - 3位 1F3・1J2

- 2年
- 1位 2J3
 - 2位 2E1
 - 3位 2F1・2J1

総合順位

- 1年
- 1位 1J1
 - 2位 1T1
 - 3位 1J2



- 2年
- 1位 2J4
 - 2位 2E2
 - 3位 2F6

4月の行事予定

4月	
30日	昭和の日
29日	昭和田日
28日	一日遠足
27日	三者面談⑦(40分×6限)／内科検診／自己目標提出締切／未来探求
26日	三者面談⑥(40分×6限)
25日	三者面談⑤(40分×6限)
24日	代議員会(14時45分)／食営
23日	金曜1～6限授業／三者面談④(40分×6限)／PTA役員会
22日	部活動等奨学生指導(全学年 14時15分)／体育館
21日	三者面談③(40分×6限)／実力テスト成績入力締切／頭髪服装再検査締切／学業奨学生指導(1年 14時15分)／PTA常任委員選出(衣替え)／中間服移行期間(5月7日)
20日	三者面談②／内科検診
19日	心臓・レントゲン(1年午前)／身体検査／学業奨学生指導(3年 14時15分)／体育館
18日	心臓・レントゲン(1年午前)／身体検査／生活作文課題配布
17日	3年進学ガイダンス(限目)／体育館
16日	全校朝礼(月曜校時終了後頭髪服装検査)／前期補習開始(2・3年)
15日	LHR(1限)／通学マナー教室
14日	内科検診／PTA常任委員投票用紙配布
13日	内科検診／未来探求
12日	実力テスト(3年普・英)
11日	実力テスト(全学年)
10日	対面式／1年生オリエンテーション(Classi全体指導)／PTAクラス幹事選出／登下校指導(21日)
9日	PTAクラス幹事選出／登下校指導(21日)
8日	保護者総簿PTAクラス幹事投票用紙保護者へ(1年)
7日	入学式(10時)／新入生クラス集合写真撮影
6日	新任式・始業式／全校大清掃
5日	PTAクラス幹事投票用紙保護者へ(2・3年)
4日	春休み
3日	春休み
2日	春休み
1日	春休み

3月で離任される先生方にコメントをいただきました!

離任される先生から鹿高のみなさんへ

①鹿高での在職年数 ②鹿高での思い出 ③鹿高生へメッセージ



榊山 一基先生 (保健体育科)

①13年

②サッカーの全校応援!
みんなの応援が力になりました。

③素直であれ、謙虚であれ。



折尾 幸一先生 (商業科)

①8年

②野球とサッカーの全校応援でした。なかでも、野球部の準々決勝・準決勝、そして決勝での全校応援が思い出に残っています。

③鹿高での高校生活が充実したすばらしい高校生活であったと思える3年間を過ごしてください。



小園 健一先生 (芸術科:書道)

①11年

②部活動に関して、赴任当初は揮毫大会での入賞者が皆無だったのが、次第に力をつけ、今は多くの入賞者ができるようになった。嬉しい思い出です。同時に、明るく個性溢れる部員と出会えたことも忘れ得ぬ思い出となっています。

③aim high!



兒玉 翠先生 (英語科)

①1年

②2F5の担任をさせてもらえたこと。37人全員で修学旅行に行き、全員元気に帰ってきた(そのあと、自分がコロナになった)こと。

③好きなことに一生懸命で、友だちのことを大切にできるみなさん。たった1年でしたが、一緒に高校生活を送れて楽しかったです。これからも、自分の目標に向かって、努力を続けてください。みなさんの周りには、支えてくれる友だち、家族、先生方がいます。これからの活躍も楽しみにしています。



二反田 幹雄先生 (数学科)

①9年

②新型コロナウイルスが猛威を振るうなか、全国高等学校総合文化祭で、吹奏楽部員を和歌山に引率したこと。

③ライフ イズ チャレンジ!
失敗を恐れず、果敢に挑戦してほしい。



前原 まり子先生 (養護教諭)

①1年

②一番の思い出は、体育祭でみんなのはじけるような笑顔でがんばっている事。

③みんなの笑顔が大好きでした。自分の夢に向かって、1日1日を大切に過ごしてください。



弓場 興嗣先生 (地歴科)

①4.5年

②朝補習の時間に出勤して来ると、校庭が賑やかで何事かと思ったら、サッカー・陸上・野球部の朝練習だとわかり、元気の良さに感心した。また日曜でも校舎内に音楽部の合唱が流れてきて文化の香りを感じた。

③若者らしく文武両道を目指して努力しよう。少なくとも一つのことには打ち込んでいる魅力のある姿でいて欲しい。



久保田 慎也先生 (事務)

①10年

②全校応援やクラスマッチが楽しかったです。(サッカーの生徒VS教職員)

③毎日楽しい時間を、「笑顔」の時間を大切に、頑張ってください。